

# 3り光

No.114 2011. 7

発行 真言宗豊山派  
北田山宝泉寺  
所沢市北岩岡130  
編集 色摩真琴

## 震災ボランティア

東日本大震災の被害は甚大、なおかつ原発の事故が重なり、今なお政治がフラフラ、さらに節電や食品の安全性の疑義と国民生活は混迷を極めています。復興には一定の時間は必要としても安心できる見通しだけでも欲しいと思います。そしてあの日以来、この局面にいたって「今、何ができるのか、すべきか」と誰でもが思いをこらしていたのではないのでしょうか。

さて小僧もそのうちの一人、釜石までボランティアとして6月初旬に作業に参加してきました。なぜ釜石かというと実はその原点は20数年前にさかのぼります。当時の体重は生涯最大までになり「これではいけない」と思いジョギングや食生活の見直しを始めました。以来フルマラソンを走るまでになり、ひよんなことからトライアスロンを目指すことに、そしてちょうど20年前釜石での大会に参加。ボランティアならここでと心では早くから決めていました。

大きなボランティア基地が遠野市に設置され、ボランティアには体育館に寝る場所が確保され、ここから震災地に出向くことになります。そして情報や物資の提供などの根拠地にもなっています。それ以外の生活面は自己完結、なにごと自身での判断と行動が求められています。若い時分盛んに山に登っていたことから生活用具は既に完備、作業用品もふだんの外仕事のもので十分。たった3日間でしたが瓦礫の処理、側溝のヘドロさらいに参加しました。20人ほどのグループで、老若男女なかには3人の若いアメリカ人まで、その働きぶりというのは誰もがきびきびと動いていてボーッとしている者などはいません。同じ思いで全国から集まった人たちだからかと感じ入りました。なかには新しい作業着や長靴、キャンプ用品なども目立ち「ボランティアもお金がかかる」との嘆きも聞こえましたが、それを押し参加することに彼らの心意気を感じました。宿泊所の体育館、

周りからのイビキと歯ぎしり、緊張と疲れからか、なかなか寝付けません。初めて導眠剤の重ね飲み？を経験、避難所暮らしの被災者のことを思っていました。

作業地区は運良くトライアスロン会場の近く、美しかった会場一体は跡形もなくまだ瓦礫で埋め尽くされ処理の遅れが明白。かろうじて道路が開通しているのみ、3階建校舎の屋上に乗用車が打ち上げられていた姿が目には焼き付いています。

ところでるり光3月号で「今何ができるか」ということからお賽銭は義援金にと皆様にお伝え致しましたが、

**その金額は110、344円でした。**

日本赤十字をつうじて送金しましたのでここにご報告致します。

大震災と原発事故、かつてない経験で日常生活にしかも広範囲に大きな影を落とすことになってしまいました。お檀家の方々の生活にもいろいろな形で降りかかっています、そのようなさなか原発事故の渦中で仕事をしている方がおられますので文章をよせて頂きました。

## 親の思い

植竹 茂・桂子

三男は高一のとき”日本は資源のない国だから特にエネルギーは原子力に頼るしかない”と国立大の原子力科を目指し修士までの六年間を経て関連企業に入社、昨年は管理職へ、今年の正月には原子力が大きな柱に成ると申しておりました。希望が達成され共に喜びました。

だが、3.11の想定外の大津波による福島第一原発は未曾有の被災をうけたまたひたちなか市に住む息子の所はインフラが全面ダメになり三日後の朝、テレビ映像に物心ついた孫はビックリしたのと同時にパパがいなくなったことを私に連絡してきて”パパ帰ってこないの”・・・と幼いながら大変なことを感じたのでしょう。パパは原発技術の支援のためのバックアップ要員として連日本社に詰めているとのこと、私の心配性がここから始まりメールなら暇なときに見てくれだろうと、ところが返事が午前1時や2時の発信で夜もあまり寝ていないのではと益々心配。

5月中旬息子も職場に戻り、六月の収束に向けてのスケジュールが発表され一安心、だが、息子家族に逢って安心したいと思いつつ訪問、息子に逢った瞬間どんなに大変だったか親として”お疲れ様”以外の言葉はなかった。”まだまだこれからが大変です”息子よ頑張れ。

福島の人達の日も早い帰郷を願ってやみません。

# 長谷寺団体参拝旅行のご案内

奈良 長谷寺は  
天と地の間に  
日常を忘れる  
時間をつくった

4月から5月にかけて「うましうるわしの奈良」という企画で長谷寺のテレビCMが放送されていました。このキャッチコピーは、そのときに使われていたもので、長谷寺のイメージにまさにぴったりでした。

宝泉寺ではその長谷寺へ10月2～4日の2泊3日で団体参拝旅行を企画しています。元々は6月に予定されていたもので、震災の影響もあり延期を余儀なくされていましたが、この度ようやく実現の運びとなりました。お申し込み等、詳細は別紙をご覧ください。この機会に皆様と本山へお参りできることを楽しみにしています。

## 大般若が厳修されました

去る5月28日、大般若転読会が厳修されました。今年は被災地復興祈願も併せ、上田秀一郎氏による太鼓演奏が行われるなど、例年になく盛り上がりを見せておりました。そのときに皆様にお寄せいただいた募金の総額は89,958円。この大切なお金は、今回、上田氏の震災に関わる活動資金として活用されることになりました。詳しくは上田さんのHP「光灯せし希望と祈りの太鼓プロジェクト」<http://giant-spotlight.p1.bindsite.jp/index.html>をご覧ください(当山、大般若のことも載っています)。皆様のお気持ち本当にありがとうございました。

## 被災者追善供養のご案内

宝泉寺では、被災者に向けた継続的な支援と供養ということで毎月11日午後2時46分より本堂にて30分ほどの被災者追善供養を行っています。また、被災者供養として塔婆の建立も受け付け、追善供養の際お加持をしています。塔婆のお布施は1本につき1,000円をちょうだいし、全てを被災地へ送ります(これまで36本分36,000円を寄付しました)。もちろん塔婆の有無に関わらず追善供養へはどなたでもご参列できますのでお時間のある方はどうぞ足をお運びください(日時を変更することがありますので電話でお問い合わせいただくと確実です)。

## 大師堂工事 関係経費のご報告

生まれ変わった旧本堂、昨年夏に大師堂、納骨堂として新しい歴史を刻み始めました。

3月末の決算によってその費用関係が確定されましたのでご報告致します。

	項目	金額 単位:円
	1 寶泉寺会計より	26,646,350
収	2 大師堂篤志	2,400,000
入	3 落慶法要祝儀	546,000
	計	29,592,350
	項目	
	1 改修費	28,647,850
	1. 改修工事費	24,015,000
支	2. 石材工事	1,500,000
	3. 雑工事	132,850
出	4. 設計監理料	3,000,000
	2 式典費	913,949
	3 事務費	30,551
	計	29,592,350

## 墓地内ゴミ処理についてお願い

例年のようにゴミ集積コーナーを庫裏の裏玄関付近に設けます。ゴミは山林に持ち込まずに必ずこちらか墓地内のゴミかごへお持ち下さい。そばに境内に軽トラックがある場合は荷台へ直接の積み込みも結構です。

そして16日、送り盆の際の竹などを含む盆棚お供物類は可燃、危険物などを分別して集積コーナーへお持ち下さい。分別、少量化にご協力をお願い致します。

## 盆供、お塔婆の受付

期間 7月31日(日)より8月9日(火)まで

極力この期間内をお願い致します。檀徒としてまだご家庭に仏さまのない方にもお納め頂いております。わざわざお持ち頂くのは年に一度ぐらいはお互いに顔を合わせたいと考えているからなのです。

## 編集後記

▲女子サッカーワールドカップ。戦前の予想をくつがえすなでしこジャパンの勝利には誰でもが快哉を叫んだことでしょう。大きなハンディに立ち向かい自分たちのサッカースタイルで勝利をもぎ取る、震災復興も経済の立て直しも日本らしいスタイルでと願いたい。但し政治の日本スタイルは要らない。

▲ボランティア作業中、何度か仕事は？歳は？と聞かれた。はたからみると元気でよく体が動いているのだそう、ちょっとだけ気分良く帰ってきた。

▲反、脱原発、あるいは容認と論議が盛ん、これによって我々には知ることができなかったことなどが明らかになって来た面がある。例えば発電コスト、そう安いものではないらしい。正しい情報の公開とともにマスコミやジャーナリストにはかみくだいた解説をお願いしたいものだ。

▲電気も際限のない需要にまで応えようものなら原発はいくつあっても足りないのではなからうか。小欲知足、るり光で何度か紹介しているが、こんな時にこそ必要なのはこの精神、いつも心で反芻している。 Jul .21.2011 (琴)